

県立高等学校みらいのあり方検討委員会について

1 設置の趣旨

(1) 本県における高等学校教育の現状

三重県教育委員会では、平成 29 年 3 月に「県立高等学校活性化計画」(以下、「計画」という。)を策定し、生徒一人ひとりに応じた多様な教育や地域で学び地域を活かす教育を推進してきました。

また、高等学校は、社会性の育成、幅広い教科・科目の開設、学校行事や部活動の充実のためには一定の規模が必要となることなどから、望ましい学校規模を 1 学年 3 ~ 8 学級とし、1 学年 2 ~ 3 学級の小規模校については、学校ごとに活性化協議会を設置して、地域と一体となった活性化の取組を推進し、学校の魅力化に取り組んでいます。

(2) 次期計画の策定と県立高等学校みらいのあり方検討委員会の設置

令和 3 年度末に現行計画の計画期間が終了することから、今後、県教育委員会の附属機関である三重県教育改革推進会議の審議を経て次期計画を策定することとしています。

策定にあたっては、地域産業界や教育・文化など様々な分野の第一線で活躍している多様な方々から、これまでのご自身の経験をふまえ、これからの変化の激しい時代を生きていく子どもたちにとって、高等学校はどのような場であるべきか、また、高校生活においてどのような学びをすべきかについて意見をいただきたいと考えています。

また、今までになく子どもたちを取り巻く社会情勢が大きく変化するとともに生徒数の減少が進む中で、高等学校における望ましい学校配置や規模、学び方などについても、さまざまな観点から意見をいただきたいと考えています。

このため、「県立高等学校みらいのあり方検討委員会」(以下、「委員会」という。)を設置しました。

委員会で出された意見については、三重県教育改革推進会議における次期計画の策定に向けた審議に活用します。

2 委員会の進め方

第 1 回会議では、「これからの時代を生きる子どもたちは高等学校においてどのような学びをするべきか、また、そのために、高等学校は子どもたちにとってどのような存在であるべきか」を論点に意見交換します。

第2回以降は、第1回で出された意見や課題等をもとに設定したテーマについて議論することとします（令和3年6月までに計6回程度の開催を予定）。

なお、議論のテーマによっては、関連する高等学校現場の視察を行うとともに、議論の参考とするため、高校生や保護者等へのアンケート調査の実施も予定しています。

3 今後のスケジュール

日程 (予定)	論点・テーマ
10月13日 (第1回)	これから時代を生きる子どもたちは高等学校においてどのような学びをするべきか、また、そのために、高等学校は子どもたちにとってどのような存在であるべきか
11月中旬 (第2回)	・個別のテーマを設定して議論
12月～ 令和3年6月 (第3～6回)	